

沖縄戦から学んで未来へ

豊見城市立とよみ小学校六年 大城 陽菜

七十四年前の悲げきは

二度とおこしてはならない

沖縄戦のような血は

どこの国も流してはいけない

だけど

今もどこかで戦争が起きている

今もどこかで血と涙が流れている

青くすきとおった海は

赤い血でよどんでしまい

緑の草原は

炎で焼きつくされ

沖縄の日々は

絶望した

七十四年前の苦しみは

私には分からない

平和な沖縄だから

その平和のありがたみを知らない者が

七十四年前の苦しみをほり返す

人は何千年も前から

戦争をしている

戦争をする度に 後かいる

でも また戦争を始める

何度も何度もくり返した

血と涙、ごまんのぎせい者をだしても

何も学ばずくり返している

だから

私たちは 学ばなくてはいけない

戦争で失うものを

平和のありがたさを

そして

自分の命の重さと ここにいる奇跡を

沖縄の未来を考えよう

過去の沖縄戦は残こくで

ふり返っても悲しいことだらけだから

沖縄の戦争のない未来のために

今 できることを考えよう

沖縄だけじゃない

日本だけじゃない

全世界で戦争をおこしてはいけない

戦争で亡くなった人や

戦争で何かを失った人

そして 私は

笑顔があふれて

みんなが手を取り合って

戦争が世界から なくなることを

望んでいるから